

経産省諮問機関の委員を務めた植田和弘さんに聞く 日本のエネルギー政策はいかにあるべきか

日時 4月26日(土) 2:00~4:30

会場 エルおおさか 6階 606室

お話 植田和弘さん(京都大学大学院教授)

参加協力費 500円

昨年発足した「原発・エネルギー・地域経済研究会」が学習会を開催します。

政府のエネルギー政策を知り、私たち市民が参加できる再生エネルギーの展望を学びます。

政府の原発推進の基本計画の原案を作成した「総合資源エネルギー調査会委員会」の委員や、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の調達価格等算定委員会の委員長も務めた植田和弘さんに話していただきます。

「エネルギー基本計画」の問題点とともに、「今こそ、グリーンエネルギーに」、「世界のエネルギー事情(脱原発・再生可能エネルギーへの転換実態)」、「買取補償制度議論の最前線」など多岐にわたる講演内容です。



植田和弘さんプロフィール

1952年生まれ。京都大学大学院経済学研究科長。

政府の「総合資源エネルギー調査会基本政策分科会」委員、大阪府市「エネルギー戦略会議」座長をつとめた。

著書に『緑のエネルギー言論』(岩波書店)、『国民のためのエネルギー原論』(共編著、日本経済新聞出版社)など多数。

日本の環境経済学の草分け的存在。

主催 原発・エネルギー・地域経済研究会(略称 吉井研究会)

代表 吉井英勝

連絡先 〒534-0014 大阪市都島区都島北通1-4-10

電話 06-6921-5271 FAX 06-6921-5272 mail ner-yoshii@sky.sannet.ne.jp